

## シンポジウム記録集

### 「両宮山古墳とその時代」 平成 29 年 2 月刊行

A 5 判、巻頭カラー写真、本文 133 ページ

“取扱い終了しました”

平成 27 年度に市制施行 10 周年を記念して開催された史跡両宮山古墳のシンポジウムの内容をまとめた記録集。5 世紀後半に造られた備前地域最大の前方後円墳の真実に迫る！！第一線で活躍する研究者らによる講演の記録とパネルディスカッションの内容を掲載。両宮山古墳には誰が眠るのか？なぜ埴輪と葺石がないのか？吉備と朝鮮半島との関係は？

「吉備の巨大古墳－両宮山古墳－」 岡山県古代吉備文化財センター所長 宇垣 匡雅

「国家形成と吉備勢力－両宮山古墳の時代によせて－」 神戸大学大学院准教授 古市 晃

「畿内からみた両宮山古墳－その保存と活用に向けて－」

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所主任研究員 林 正憲

「両宮山古墳周辺の朝鮮半島系資料が語るもの」 岡山理科大学教授 亀田 修一

そのほか討論内容などを収載



問い合わせ先：赤磐市山陽郷土資料館 086-955-0710